

2019年12月4日
日本船主協会 海事人材部

神戸大学海事科学部1年生を対象に座談会を実施

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2019年11月13日(水)に神戸大学 鶴甲第1キャンパスにおいて、海事科学部1年生を対象に座談会を開催しました。

この取り組みは、神戸大学海事科学部の1年生を対象に、海技者の仕事をより身近に感じてもらうことを目的とし、2015年度より毎年開催しています。今回は、川崎汽船株式会社より置田昂文二等機関士、株式会社商船三井より西尾勇人二等航海士、日本郵船株式会社より永吉優也一等機関士の3名の若手海技者および、事務局より田中常務理事、針生課長代理が、参加した1年生60名にそれぞれ対応しました。

今回の座談会では、海技者の仕事内容をはじめとし、乗船実習や海運業界への進路についてなど、若手海技者が自身のエピソードを交えながら助言を行いました。

軽食を取りながら実施した当座談会は、和やかな雰囲気で行われました。学生からは「海上勤務と陸上勤務」、「航海士・機関士の具体的な仕事内容」、「船上生活や休暇」、「英語の必要性」、「船の自動運航化」などについて様々な質問がありました。参加学生にとっては、海技者の話を直接聞いたことで仕事への理解を深め、自身の大学生活や将来を考える良い機会となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



左：座談会の様子

下：講師の方々

(左より、永吉一等機関士、西尾二等航海士、置田二等機関士、針生課長代理)

